



平成 28 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 日本冶金工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 木村 始
 (コード番号 5480)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 小林 伸互
 (TEL 03-3273-3613)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値と 実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 9 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値と、本日公表の実績値に下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|--------|-------|------|--------------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 55,000 | 1,000 | 300 | 100 | 0.65 |
| 実績値(B) | 53,544 | 959 | 340 | 329 | 2.13 |
| 増減額(B-A) | △1,456 | △41 | 40 | 229 | |
| 増減率(%) | △2.6 | △4.1 | 13.3 | 229.1 | |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期) | 62,635 | 536 | △143 | △405 | △2.62 |

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間のステンレス特殊鋼業界におきましては、LME ニッケル相場の下落傾向が底を打ったものの未だ需要の盛り上がりには欠け、更に円高による輸出環境の悪化も加わり厳しい事業環境が続きました。このような中、当社グループにおきましては、販売価格の適正化に努めるとともに、戦略分野である高機能材の拡販に努めてまいりました。

その結果、売上高、営業利益及び経常利益につきましては、ほぼ前回予想どおりの結果となりましたが、法人税等の計上額が当初の見込みに比べ減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前回予想を上回りました。

なお、平成 28 年 5 月 9 日に公表しました通期連結業績予想は変更いたしません。

以上